

T I C A D 閣僚会合 ビジネス関連サイドイベント第 2 部

「日本の中小企業の可能性」

辻清人外務大臣政務官の開会挨拶

2018年10月6日

アフリカ各国代表団の皆様

日本及びアフリカ企業関係者の皆様

T I C A D 閣僚会合に先立ち、アフリカ諸国の閣僚及び代表団とともに、アフリカ連合委員会と日本企業関係者のご参加を得て、ビジネス・サイドイベント第二部「日本の中小企業の可能性」が多くの参加者を得て実施されることを大変嬉しく思います。

本日は、既にアフリカでビジネスを成功させたフロントランナーである大企業2社と、先進的でユニークな技術をもつ日本の中小企業11社がプレゼンテーションを予定しています。いずれの企業も、他には真似のできない高い技術や製品を持っています。

第二次世界大戦後、日本のような小さな島国が世界有数の経済大国となった背景には、日本の企業の大多数を占める中小企業の高い技術力とユニークな発想力があつたことはよく知られています。そこで、本日登壇する日本の中小企業の技術や製品も、現在のアフリカの課題を解決に導き、将来のアフリカの社会及び経済発展に大いに貢献するものと確信しています。

日本政府は、来年8月横浜で開催されるT I C A D 7で、日本の対アフリカ投資を促進し、アフリカの経済社会の発展と日アフリカ間の経済協力関係を強化するための具体的な取り組みを検討しています。

アフリカは様々な分野で可能性に満ちた大いなるフロンティアです。実際、アフリカでは豊富な天然資源や高い人口増加率を背景に、順調に経済が発展し、今年も3.1%の経済成長が見込まれています。また、政治的にも、最近ではエチオピアとエリトリアの外交関係の再開や南スーダン和平合意をは

じめ、長年の対立や紛争を克服して平和と安定への道を確実に歩みつつあります。

一方で、アフリカには、保健衛生、電気や水道といった基礎的サービスにアクセスできない人々が多数いることも事実です。こうした課題を克服しながら、アフリカが経済社会発展の道を確実に歩いていくために、日本の中小企業の果たせる役割は決して小さくありません。本日登壇される日本企業の皆様、是非この機会をアフリカへの進出や事業拡大の足掛かりとしてください。

そして、アフリカ各国の閣僚及び政府代表団の皆様、これらの企業がアフリカの経済発展に貢献できるよう、ビジネス環境を整備し、進出を後押ししてくださることをお願いいたします。

本日のイベントが、参加された全ての方にとって有意義なものとなり、具体的なビジネスの成果につながることを期待しています。日本とアフリカの関係が、来年のT I C A Dに向けて、更に盛り上がっていくことを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

(了)